

4月11日、第7回委員会に向けて

委員各位、

ビジョンの構想イラスト(下記)も修正しておきましたが、我々は次の10年に向けてのビジョンを描いています。イラストには前回議論された新項目などを入れていますが完成にはまだ遠いような気がします。特に、農林業とエコの関係、堆肥製造施設、温泉利用農法、森林整備隊組織の有料会員会員化、ペレットと化石燃料の経済性とエネルギー出力比較、経済特区に指定された重粒子線治療などについてみなさんからご意見をいただきたいと思います。

次回にディスカッションする内容は以下の通りです。他の項目もありましたらどしどしお寄せ下さい。

大目標

みなかみエコタウン構想。ユネスコエコパーク認定を核としての町づくり、地域の活性化。

世界のエコタウンMINAKAMI: (みなかみをエコロジーの筑波学園都市にする)

ワールドエコタウンパビオリオン建設: 世界中のエコパークの紹介、エコロジーを学ぶ、観光客、学校客誘致。

エコロジー大学院大学: 世界のトップエコロジー学者を招聘する大学院大学の誘致。

環境省エコロジー研究所: 日本最高峰のエコ研究所誘致。同時に研究所のサテライト機関としての企業、大学、ベンチャーの誘致。

MINAKAMI会議: 世界の首脳がエネルギー問題を話し合う「みなかみ会議」を提唱、誘致。

みなかみユネスコスクール: 太田市の国際スクールをモデルに小中一貫の全寮制インターナショナルスクールの誘致。

歩くみなかみ:

「歩く」をみなかみの一つのブランドとする。上級からファミリーまでの100本のFoot Pathを整備、オリエンテーリングワールドカップ誘致から、観光資源としての歩く商品を開発整備する。エコ学習コース、りんご狩りコースなど。

エコ日本一:

エコカー普及率、家庭用ソーラ普及率、ゴミリサイクル(RDFのビジネスモデル)、宿泊施設の充電設備の日本一。

農業法人設立:

ドールランド、オリーブランド、農産物加工設備の動力をすべてクリーンエネルギー、再生エネルギーに。

教育:

利根商の存続理由を住民の陳情レベルから国としての必須レベルへ。観光学科、エコロジー学科の新設。

温泉排水利用:

宿泊施設の温排水リサイクルシステム。館内リサイクル、温泉排水を利用したハウス栽培。

メディカルツーリズム:

医療特区に指定された群馬大学の重粒子線発生装置建設を誘致。重粒子線治療と協業した森林セラピー、温泉セラピーで「ラクジャリー湯治」を提案、内外の富裕層に向けたメディカルツーリズム商品を開発する。

エコロジービジネスの開発:

ペレット、堆肥、RDF製造のサイクルを経費から利益に、新ビジネスモデルの開発。特にRDFの有効活用。

プレミアムタウン構想:

団塊富裕層をターゲットとしたセカンドホーム誘致、富裕層向有料老人ホームの誘致

スポーツタウン構想:

サッカーグラウンド、野球、バスケットコート整備、キャンプ合宿の誘致。

雪合戦の普及啓蒙、雪合戦ワールドカップの誘致。

文化伝統:

食文化: 不適格農産物を使った食品、素材の開発

ITの積極的な利用:

発想のKey Word:

- * 外部資源の活用
- * 協業、アライアンス
- * Win-Winの関係作り

森と水、自然と人と生物の調和

ユネスコ・エコパークの町 (目標平成35年)

安全安心

農業法人

農産物加工エコ施設
堆肥製造エコ施設
農業ベンチャーの誘致

みなかみパイ

普及率日本一
エコカー
ソーラ発電
リサイクル

ワールドエコパークパビリオン
エコロジー大学院大学
みなかみエコサミット

ドールランド
オーリーブランド

みなかみ

人口30,000

エコツーリズム
森林セラピー
重粒子線治療

観光 300億円
550万人

十八湯
一日千トンかけ流し

温泉排水利用

利根商

人づくり

観光学科
エコロジー学科
英語特区

森林整備隊
首都圏水瓶
ファンド

歩くみなかみ

健康

Foot Path
World Cup
Family

環境

林業

エコ製材所・ペレット工場

みなかみパーク
レンジャー構想

プラチナタウン構想

赤谷プロジェクト
谷山エコツアー
はびねす計画

町づくりビジョンへのロードマップ

